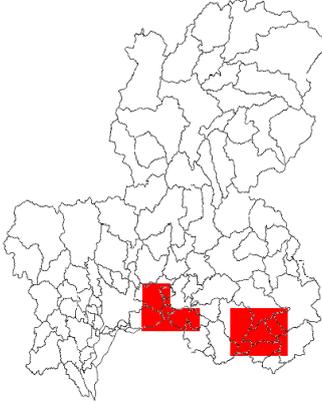


ドクゼリ	<i>Cicuta virosa</i> L.	絶滅危惧Ⅱ類
		セリ科
選定理由	大部分の生育地で生育条件が明らかに悪化しつつあり、個体数が大幅に減少している。	写真(奥田浩之) 
形態の特徴	多年草。全体無毛で、猛毒のシクトキシン類を含有している。地下茎は太くて筍状の節がある。茎は中空で多く分枝し、高さ約1mになる。葉は2-3回羽状複葉で、小葉は鋸歯がある。花は複散形花序となり、花弁は白色。	
生態的特徴	丘陵地の池沼や湿地に見られる抽水植物。花期は6-7月。	
分布状況	北海道、本州、四国、九州、ユーラシアに広く分布する。岐阜県においては県南中部、県南東部に見られる。	
減少要因	生育環境となる池沼や湿地の減少。本種の生育環境である丘陵地は、人間の生産活動の活発な場所でもあり、埋め立てによる土地の改変や堤防の改修などにより、生育地が消失している。	
保全対策	現状の生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	「日本の野生植物 草本Ⅱ 離弁花類」(佐竹義輔ほか(編), 1982年)	

文責:奥田浩之